

5月25日(月) 御差鉦ご巡幸順路

(往路) 日吉神社→表町→三浦齒科右折→旧7号線横断→さくら橋→御神宿(町内会館)

(復路) 御神宿→さくら橋→旧7号線横断→三浦齒科前→忠専寺前→神社還御

ご巡幸予定時間

18時00分	神事開始	20時15分	御神宿出発
18時50分	神社出発	20時40分	三浦齒科横
19時10分	三浦齒科前	20時50分	表町(参道産)
19時20分	さくら橋	21時00分	神社還御
19時30分	御神宿到着		



祭典委員長 富田 漣 氏

祭典実行委員長 富田 漣 氏

統前町 十條団地町

祭典委員 富樫 仁英氏 協力町 上表町 中表町

頭人役 池田 正氏



平成21年

発行 日吉神社
住所 秋田市新屋 日吉町10-67
電話 018-828-3033

5月26日(火) 例大祭ご巡幸順路

(往路) 日吉神社→表町→秋銀新屋支店前→旧公民館T字路右折→三笠カメラ前→右折→かなや菓子店前→さくら橋→御神宿(町内会館)

(復路) 御神宿→さくら橋左折→新屋幼稚園→厨町(ティファニー前)→新屋駅→豊岩踏切→一本木

(復路) 一本木→十條化成入口→西部市民サービスセンター前→神社還御

ご巡幸予定時間

10時00分	神事開始	13時00分	御神宿出発
10時50分	神社出発	13時15分	さくら橋
11時35分	旧公民館前	13時30分	新屋駅前
12時00分	御神宿到着	14時30分	一本木出発
12時00分	神事	15時10分	神社還御



祭典委員 富樫 仁英氏 協力町 上表町 中表町

頭人役 池田 正氏

下表町 大川町

祭典霊符

山王祭では、日吉神社の神様が、オミコシに担がれて町内を巡ります。年に一度のお祭りです、新しい力が籠められた、祭典霊符を差し上げさせていただきます。左の封筒に初穂料を入れ、オミコシのお伴の人から受け取って下さい。

社務所でも受け付けております。袋は、町内の氏子総代の方か、または神社に用意してあります。

山王祭統前の回顧について

本年度の山王祭の統前にあたっては、十條団地町では、昨年から精力的に取り組み、着々と準備が進んでおります。

町内会結成以来初めての祭典奉仕ということ、町内の皆さんの一生懸命さがヒシヒシと伝わってまいります。

さて、山王祭の統前の回顧について、問い合わせが時折ありますので改めてお知らせします。

去る平成五年、慎重に検討を重ねた上で、氏子総代会で決定をし、全町内会長さんに御通知、お願いしたものです。

新屋町の急速な成長により、町内数

◆奉納演芸◆

時 五月二十五日 十九時〜二十一時
二十六日 十三時〜十五時
十八時三〇分
二十時三〇分

所 日吉神社 下境内
出演者 浅野 梅若社中

も当時二十二町となっており、全町内に公平に統前をお願いするべきだという考えの下に、全町を四つの組に分けて、組ごとに、統前を受ける仕組みになっています。

組分けについては、

- 一組 駅前、沖田、高美、田尻沢、南団地の五町
- 二組 上表、中表、下表、十條団地、大川の五町
- 三組 愛宕、市営住宅、比内、日の出、はまなす、関町の六町
- 四組 笹町、緑町、関町後、北新、県営住宅、南新の六町

◎統前は、「組」で受けるので、「組」内で順序の変更や、調整をしていただきます。

今後十年間の回顧としては、

平成二二年	三組	日の出町
二三年	四組	関町後
二四年	一組	南団地町
二五年	二組	大川町
二六年	三組	はまなす町
二七年	四組	北新町
二八年	一組	駅前町
二九年	二組	上表町
三〇年	三組	関町
三一年	四組	県営住宅

という予定になっております。

御神輿 担ぎ手募集

皆さん一緒に担いでみませんか？
新興連では担ぎ手を募集しています

募集人員 中学生以上の心身共に健康な男女
(男80名 女30名程度)

詳しくは担ぎ手担当ヘライまで
携帯090-8781-1886
新興連

平成21年 年祝祭

本年の年祝祭が、去る四月二十九日、百二十五名の参加により賑やかに斎行されました。

記念に八間物の「幕」が奉納されました。山王祭やお正月には皆様にお披露目できる事でしょう。

本年の役員の方々をご紹介します。(敬称略)

会長	今野 工	古野 誠彦
副会長	塚田 俊彦	
幹事長	成田 純一	
幹事	高島 裕之	加藤 邦春
	佐々木 誠	三浦 慎悦
	佐々木 敏昭	森川 雅人
	大友 潤一	伊藤 一幸
	山内 邦康	塚田 栄二
	大門 英明	佐々木 一直
会計	平原 和彦	
会計監査	鎌田 真澄	

町内対抗あらばやしコンクール
日時 五月二十五日(月)
午後四時開始
受付 午後三時四十五分
場所 日吉神社境内 神楽堂
昨年の成績
第一位 日の出町、第二位 比内町
第三位 下表町

伊勢神宮御遷宮

一昨年の社報でもお知らせしましたが、平成二十五年十月には、伊勢神宮の第六十二回式年遷宮のお祭りが行われます。



二十一年に一度、関係する全てのお社や橋などの造形物、宝物などを全て作り替える遷宮という祭事を通して、国民の心の蘇りを願う行事です。千年に亘って培われてきた、その木工、建築、紡織などの技術は日本の文化として失ってはならない大切なものです。それらを総合したものが、御遷宮です。

大事業でもあるため、国民各層からの寄進をお願いしております。尚、日吉神社に於きましても、随時御協賛をお受付致しております。ご協力をお願い致します。



横山津恵展に神社所有の絵 特別出展

新屋出身の画家、横山津恵先生の展覧会が、横手の県立近代美術館で、昨年平成二十年十月四日から十一月九日まで「風薫る。花香る。ヴィーナスタち。横山津恵展」と題して開催されました。



「鷹狩り」の絵が奉納されており、今回の展覧会に特別展示されました。

将来画家となる、横山津恵さんの才能を感じさせるキラッとした武者の絵です。

現在、社務所に飾っておりますので、お越しの節には是非御覧下さい。



出羽三山神社齋館での精進料理を楽しむ

敬神旅行会

平成二十年の敬神旅行会は、十月二十三日、二十四日の両日、二十二人の参加で行いました。山形県鶴岡市の出羽三山神社をお参りし、天童市内や、蔵王のお釜まで足を伸ばす予定でしたが、生憎の天候で、二日目は、立石寺（山寺）の対岸にある山寺芭蕉記念館や、天童市内のオルゴール博物館をゆつくり見て回る事ができました。

今回の旅行の大きな目的の一つは、写真の、出羽三山神社の齋館での昼食でした。

元は、僧房であったという、古い大きな建物の中での食事というのも格別ですが、なによりも、食事の中身である精進料理は、普段、肉や魚などを食べ慣れている身には、よくこれだけ工夫をして作るものだ、心から感心させられました。

本年は、北上―遠野―気仙沼と仙台方面の二コースで現在検討中です。決定次第、掲示や、ご案内をしますので、奮ってご参加下さい。



2月3日 節分の豆まき

コイのぼりはどこへ?

◆三月はおひなさま、五月はこいのぼりと、普通に行われてきていると思っていたのに、どうも近頃は、五月に鯉が泳いでいない様です。◆テレビや新聞で大きく取り上げられているというのは、それだけ普通の家では行われなくなったのではないのでしょうか。◆写真は二月三日の節分の日に行った「まめまき」の模様です。◆日本の国の四季の細やかな変化は、古くから言い習わされてきています。その風土に生活する日本人の心遣いの細やかさも世界に良く知られたところでした。◆しかし世の中が進歩して、農作物はいつても同じ物が手に入られるようになって

平成二十年地元自慢標語コンクール金賞作品

●鹿嶋さん
わっしょいの声ひびいている

輝く笑顔 新屋の絆

●新屋町
人の笑顔と 四季の色
やさしさひかる輝きの町

日新小 六年三組 鈴木 明梨さん

秋田西中 三年四組 石井 悠貴さん

※学校・学年・クラスは平成二十年度のものです。



仲秋の名月を楽しむ集い

り、二十四時間いつでも好きなものが買えるようになりました。◆便利で快適な生活と引き換えに天然自然が織りなす四季の贈り物に気付かず毎日を送るようになってきています。◆しかし、世の中が順調に回っている時には、全てお金で買う事ができても、今の様に不況が続き、先行きが見えなくなると急に色あせて見えてきます。◆貧しくても家族が寄り添って生きていた時代、もつと古い時代から、自然を楽しむ事を知っていた昔の人達の暮らしぶり、風習を見直す時に来ているのではないのでしょうか。◆神社では、こうした考え方から、我が国で古くから行われてきた、四季折々の行事を、各御家庭で、復活して貰うきっかけにしようと様々な行事を行っております。